

銘柄分析レポート：天国に持って行く株

1 はじめに

月日が経つのは早いもので、私も今年9月に還暦を迎えました。投資家人生も後半戦に入りつつある今、次のような考えが頭をよぎり始めています。

もうバタバタと売ったり買ったりするのはやめたいな。次に買うのは、ずっと持ち続けられる「天国に持っていける株」にしたいものだ。

実際問題として、あの世まで持っていけるわけではないですし、本のタイトルになった『ゼロで死ぬ』という考え方も理解できます。

しかし投資家として有終の美を飾りたいであれば、最後に何を持っていたかが極めて重要ではないでしょうか。

自分なりにまとめた「天国に持っていける株」の7つの条件は下記の通りです。

- (1) ローカルな市場におけるシェアが高い
- (2) その市場に十分な成長余地が残されている
- (3) 事業の資本利益率が高い
- (4) 将来に向けた大がかりな投資が不要である
- (5) やり手のオーナー経営者に率いられている
- (6) ノウハウやデータの蓄積による、短期間での模倣が困難な競争優位を築いている
- (7) 顧客や代理店、サプライヤーの囲い込みができています

長きにわたって強気相場が続いた結果、これらの条件を満たすような優良企業はすっかり上昇してしまい、バリュー投資家には手が届かない高嶺の花になってしまいました。

そんな中で起きた米国金利の上昇は、まさに“恵みの雨”でした。金利上昇を嫌気したグロース株の値上がりもあり、一度は投資をあきらめた株が射程圏内に入ってきたのです。

こうなってくると、がぜんモチベーションもあがります。今回の銘柄分析レポートでは「天国に持っていける株」の候補になりえる2銘柄を取り上げました。